令和４年度　日本大学スポーツ科学部　個人研究費　研究実績報告書

所属： スポーツ科学部　競技スポーツ学科
資格： 教授
氏名： 日吉　　秀松

研究課題名	延安整風運動と文化大革命の比較研究（二）：「搶救運動」と「二月逆流への反対運動」の比較
研究目的及び研究概要	研究目的： 延安整風運動の中で展開されたいわゆる「搶救運動」（堕落分子救出運動）は、延安整風運動の核心的な運動であった。毛沢東はこの運動を利用し、党内の敵対者を徹底的に粛清させ、自分を最高権威とする新しい指導体制へと改造した。文化大革命初期の1967年2月16日に党内の高級幹部による「文革小組」を厳しく糾弾することが起きた。毛沢東はそのことを「二月逆流」だと批判し、反文革であると断罪した。そして、2月22 日から3 月18日までに、前後7 回にわたり会議を開き，それら高級幹部たちへの批判、つまり「二月逆流への反対運動」をエスカレートさせた。本研究は、「搶救運動」と「二月逆流への反対運動」の本質を抽出し、毛沢東の政治運動の特徴を解明することを目的とする。 研究概要： 延安整風運動における「搶救運動」（堕落分子救出運動）の研究については、諸先行研究の成果を踏まえ、昨年と同様に台湾中央研究院にて資料を収集し研究を行う予定していたが、新型コロナウィルスの感染状況によって、台湾での収集作業を中止せざるをえなかった。そのため、今までに収集した延安整風運動に関する資料の分析を行い、諸先行研究の成果に照らし、「搶救運動」と「二月逆流への反対運動」の比較研究を行っている。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	新型コロナウィルスの流行中に、計画した本来の研究は資料の整理と分析の段階に止まっており、来年度は積極的に資料の収集と論文の執筆に努めたい。当研究課題のほか、文化大革命期におけるピンポン外交についての論文を執筆し、また、復旦大学主催の第32回国際シンポジウムにオンライン参加し、報告をした。 論文： 日吉秀松　「ピンポン外交と日本の役割についての考察」（前後編）　『スポーツ科学研究』　第7集　2023年3月　pp. 59～69。 発表者名：日吉　秀松 発表標題：白蓮事件と在日中国人留学生（オンライン参加） 学会　　名： 復旦大学第32回国際シンポジウム：留学生と中日関係―中日国交正常化50周年を記念して 開催日：2022年11月26日－27日 主催：復旦大学日本研究センター 開催場所（機関名）：クラウンプラザホテル（復旦大学）